

執筆者紹介

崔 京国 (チェ・キョンクック)

国文学研究資料館外国人研究員

韓国外国語大学日本語科卒業、韓国外国語大学大学院日本語科卒業、東京大学大学院総合文化研究科表象文化論専攻修士・博士課程卒業(学術博士)。研究分野は江戸文学(見立て、日本における虎のイメージ研究)。論文に「戯作における開帳の見立物研究—いわゆる「とんだ霊宝」の受容—」(『国際日本文学研究集会会議録』国文学研究資料館、1993、10)、「画中に詩あり—山東京伝『吞込多霊宝縁起』から見た見立絵の方法」(『日本の美学』ぺりかん社、1994、12)、「見立遊びとしての煙草用具の造り物」(『特別典 200 年が面白い! 寛政の出版界と山東京伝』たばこと塩の博物館、1995、03)、『造物趣向種三種 天明・天保・安政版』崔京国編(太平書屋、1996)、「見立て」美学の構造—山東京伝の場合」(『表象のディスクール 4 イメージ不可視なるものの強度』東京大学出版会、2000、04)、「いわゆる『文字絵づくし』について」(『江戸の文事』延廣眞治編 2000) などがある。

糸 汐里 (クメ・シオリ)

立教大学大学院博士後期課程在学中

日本文学専攻、日本学術振興会特別研究員(DC)。論文に「『小栗判官』の絵解きをめぐって—俣野の信仰と伝承から—」(『立教大学日本文学』104号、2010年7月)、「辻堂茂兵衛資料館蔵『当麻中将姫和讃』—解題と翻刻—」(『立教大学大学院日本文学論叢』第10号、2010年8月) などがある。

蔡 佩青 (サイ・ハイセイ)

静岡英和学院大学専任講師

名古屋大学文学研究科文学博士号を取得。主な研究分野は西行に纏わる説話。論文に、「西行説話の伝承方法—『新古今和歌集』における西行の「夢物語」—」(『古代文学研究第二次』第17号 2008年10月)、「『撰集抄』における創作説話の虚と実—西行崇徳院展墓譚をめぐって—」(『名古屋大学国語国文学』第101号 2008年11月)、「『西行物語』の読み方—七家集本「西行山家集」—」(『中世文学』第54号 2009年6月)、「歌人から法師へ—西行の鎮魂歌—」(アジア遊学 130『古典化するキャラクター』2010年3月) などがある。

廖 秀娟 (リョウ・シュウケン)

台湾・元智大学應用外語系助理教授

大阪大学文学研究科博士學位取得。研究分野は日本近代文学、昭和文学、中島敦研究。

論文に「湯浅克衛「棗」論」(『解釈』56巻7.8月号 2010年8月)、「陳火泉「道」と『文芸台湾』」(『日本學研究』29号 2010年1月)、「中島敦「李陵」論—他者との対峙」(『阪大近代文学研究』第4号 2006年3月)、「台湾文学と日本文学の接点」(『2004-2005 大阪大学文学研究科共同研究報告書台湾における

日本文学・国語学の新たな可能性 [2004 年度]』2006 年 3 月) などがある。

林 淑丹 (リン・シュクタン)

台湾・文藻外国語学院大学日本語学科准教授

新潟大学大学院修士課程、東京大学大学院総合文化研究科大学院研究生を経て、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了、博士号を取得。研究分野は近代文学、森鷗外研究、日本漢文小説研究。論文に『明治期日本における『虞初新志』の受容——『本朝虞初新誌』『日本虞初新志』『譚海』を例として』(高雄復文圖書出版社、2008 年)、「石川鴻斎『夜窓鬼談』『東斎諧』試論」(文藻日本語文系『2009 年「日語教育之應用與發展」國際學術論文集』、2010 年)、「日本漢文小説『本朝虞初新誌』考——盜賊伝を中心に」(日本全国漢文教育学会『新しい漢字漢文教育』第 46 号、2008 年)、「傳奇不傳奇? : 論森鷗外的歴史文學」(台大外文系『中外文學』第 34 卷第 5 号、2005 年) などがある。

久保田 裕子 (クボタ・ユウコ)

福岡教育大学教育学部教授

お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科比較文化学専攻単位修得退学。研究分野は三島由紀夫研究、現代女性作家研究、タイ国表象の分析研究。論文に「翻訳者・三島由紀夫と村上春樹の文化戦略」(『日本文学』第 57 卷 11 号、2008)「近代日本における〈タイ〉イメージ表象の系譜—昭和 10 年代の〈南洋〉へのまなざし—」(『立命館言語文化研究』第 21 卷 3 号、2010)「王妃の肖像—三島由紀夫『暁の寺』におけるタイ国表象—」(『福岡教育大学国語科研究論集』第 52 号、2011) などがある。

徐 忍宇 (ソ・イヌ)

九州大学大学院博士後期課程在学中

韓国全北大学校日語日文学科卒業。主な論文に「名前からの逃避—〈固有名〉のアレゴリーとして読む「トニー滝谷」」、「書いている自分への〈コミットメント〉—「蜂蜜パイ」論」などがある。

岩田 陽子 (イワタ・ヨウコ)

関西大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

専攻は日本近現代文学。女性作家津村節子を取り上げ研究している。論文に「津村節子『さい果て』の長篇小説構想」(『阪神近代文学研究』、第 10 号、2009)、「津村節子『海鳴』論—作品世界の生成と意義—」(『千里山文学論集』第 84 号、2010)、「津村節子『海鳴』論—改訂の意義—」(『国文学』第 95 号、2011)、「津村節子著書目録」(『千里山文学論集』第 86 号、2011) などがある。

Keith Vincent (キース・ヴィンセント)

ボストン大学准教授

コロンビア大学日本文学博士号取得。研究分野は日本近代文学、クシア・セ

オリ－、物語論、翻訳論。論文に“Making It Real: Fiction, Desire, and the Queerness of the Beautiful Fighting Girl.”（齊藤環著『戦闘美少女の精神分析』の英訳のIntroduction. Beautiful Fighting Girl, University of Minnesota Press, 2011）、「死亡兵ではなく脱走兵として：三島由紀夫におけるキチュとキャンプ」（井上隆氏によるインタビュー）（『国文学解釈と鑑賞』4月号、2011年）、Honoring Eve: A Special Issue on the Work of Eve Kosofsky Sedgwick. Criticism: A Quarterly for Arts and Literature, spring 2010. Erin Murphy と共編、「日本的未成熟の系譜」（『日本の創造力の未来』東浩紀篇、NHK Books, 2010）などがある。

丹羽 みさと（ニワ・ミサト）

国文学研究資料館機関研究員

立教大学博士号（文学）取得。主な研究分野は近代における近世文学の受容。論文に「江戸川乱歩の半生と近世資料」（『立教大学日本文学』2005年12月）、「青果の見た八百屋お七」（『国語国文』2007年5月）、「岡本敬之助と九代目市川团十郎の交友」（『日本近代文学』2009年5月）などがある。

園山 千里（ソノヤマ・センリ）

ポーランド国立ヤギェウォ大学准教授

立教大学大学院博士後期課程修了、博士（文学）。論文に「『枕草子』の法会～延慶本「得長寿院供養事」との対比を軸に～」（小峯和明編『『平家物語』の転生と再生』笠間書院、2003年）、「『源氏物語』の法会と和歌—悲哀を基調とした法会の和歌—」（『立教大学日本文学』2007年12月）、「『枕草子』と結縁八講—法華八講の歴史から」（『古代中世文学論考第25集』新典社、2011年3月）、「『枕草子』の宗教関連章段考—仏事の声を中心に—」（小森潔・津島知明編『枕草子 創造と新生』翰林書房、2011年5月）などがある。

赤澤 真理（アカザワ・マリ）

日本学術振興会特別研究員 SPD（国文学研究資料館）。

コロンビア大学東アジア言語文化学部 visiting scholar。日本工業大学工学部建築学科卒業。同大学大学院工学研究科建築学博士後期課程修了、博士（工学）。研究分野は建築史学、特に物語や絵画を素材とした日本住宅史。著書に『源氏物語絵にみる近世上流住宅史論』中央公論美術出版、2010年。論文に「江戸前期における寝殿造の理解と憧憬—住吉派物語絵にみる住宅観」（伊井春樹・池田忍編『講座源氏物語研究9巻源氏物語と美術の世界』おうふう、2008年）、「十七世紀源氏物語絵が理想とした住宅像—描かれた清涼殿・六条院と画派による相違」（佐野みどり編『源氏絵集成』藝華書院、2011年）などがある。